

## 一 般 質 問

9月10日に開会された第3回定例会では、1名の議員から1件の一般質問がありました。



澤田議員

### ひまわりの里線の排水対策について

澤田議員

今年のひまわりまつりは、20万人を越える観光客の来場があったと報告があった。今後も観光客のみなさんに気持ちよく来ていただける努力が必要だと思うが、そこで気になっている事で、ひまわりの里線について、春先の融雪水や少し大きな雨が降る度に土砂が道路に流出して、その都度復旧工事を行っている。これは排水口がオーバーフローして道路に冠水する事で土砂が道路に流れ出すためである。

また、西川の土居宅前の道路が長時間冠水し、危険な面もある。

ひまわりの里線はひまわりの観光の拠点として、また町民の利用道路でもあり、景観や交通安全の安全面からも根本的な防止対策を考えなければならぬと思う。

ひまわり畑に土砂流出防止のための「沈砂池」や排水口の大口径化、排水口の増設など技術的・現実的にどのような対策が可能かお聞きする。

佐野町長

本年は日本各地で「ゲリラ豪雨」の発生があり、本町では8月18日に1時間で26.5ミリ、8月19日には23.5ミリの集中的な降雨があった。

ひまわりの里では、大雨の対策として土砂流出の激しい圃場は、土のうの設置により流出防止の処置を行った。次年度以降は、根本的な原因である土砂流出を最小限とするため、原因場所の畦畔をかき上げし町道を走った水を排水溝に誘導しながら、流出した土砂を下流へ流さないための沈砂池も複数設置するなど検討をする。管理として定期的な沈砂池の土砂を取り除く作業が必要だが、景観と安全に配慮した施工を心がけ、次年度に向けて取り組んで行く。

道路排水対策は、平成21年に西川岩村線の道路排水土砂上げを実施し、融雪水や雨水がスムーズに流れるように施工した。樹木の落ち葉や路肩の草刈などが排水に流れ込み腐葉土となって堆積し、支障をきたしているのでトラフ清



掃も行っている。

また、現地の道路路肩は盛り上がりしており、舗装面より高く車道に水溜りが発生するので路肩を削るなど、表面水をスムーズに排水する処理を行う。

澤田議員

今年、イチイの森が整備され、大変良い環境になっている。せっかく整備されたイチイの森への道路が土砂で大きく景観を損ね、土ぼこりが舞う状況である。よって、ひまわり畑の作付けのあり方も含めて、多角的に対策を検討いただきたい。

## 議員コラム

2020年のオリンピックが東京で開かれる事に決まった。北竜町にいてあまり実感がわかないけれど、すぐに「経済効果がどのくらい」とか、「オリンピックをやれば儲かる」と言う声が聞かれる。政権維持の起爆剤にしたいという思いもあるのかも知れない。しかし、明るい話題とは裏腹に2年半経っても原発被害の後始末さえ全く不十分な状況の中で、自信を持って世界からオリンピックを迎えられるのだろうか。見たくないものにフタをして、明るい話題へと国民の目をそらす、そんな感じがしないでもない。

▼夏の風物詩にもなった「ひまわりまつり」も久し振りに20万人を超える来客があった。北海道でも珍しい長丁場のまつり。北竜町にとっては知名度を含めた全体としての「経済効果」という意味では大きなものがある。毎年この日はあるけれども、ひまわりまつりが終わったあとのひまわりの里の静けさに、夏の1カ月のためにかかわった人々の努力を想う。2020年、オリンピックという「まつり」のあとの静けさに何を思うだろうか。

(澤田)

